

コロナ禍でのICT活用



▲つくば市でのICT教育の様子

市長 新型コロナウイルス感染症は禍ですが、コロナ禍でも大丈夫な教育充実を急ぐべきと、国会でもICT教育環境整備の加速となりました。從来の方法を見直し、未来志向の本格的な努力が重要と関係各方面が覚醒した訳です。

毛利 そうですね。そうした中で、本校では新型コロナウイルスの影響で休校となつたその日からオンライン動画を配信し、授業に臨めるようになりました。

市長 すばらしいですね！

毛利 日常的に使つていたからこそできたのだと思います。これも横尾市長が全国ICT教育首長協議会の会長としてご尽力くださいましたおかげです。本校でも整備がどんどん進み、昨年11月には全国で



▲多久市でのICT教育の様子

適切な研修等も重要ですね。

毛利 先生たちにはたくさんの子どもたちを、立派な大人へ導かれた経験がありますから、自信を持つてほしいです。ICTはこれまで時間をかけざるを得なかつた、採点や準備の時間を短縮してくれるものの、子どもたちと向き合う時間が増える分、より充実した教育を提供できると思います。

市長 そうですね。先生たちにはICTという未来型のツールを上手に使って、子どもたちの主体性や積極性を育むことに時間をかけてほしいなと思うのです。

毛利 今年の抱負

市長 例えれば地域の皆さんの中でICTに詳しい人がICT支援員のサポートになつて下されば、子どもたちのみならず大人のためにも良い効果が期待できますね。

毛利 地域活性化にもつながって良いですね。

市長 一方、全国的にも多くの先生方は、学生時代にICT学習体験がなく不安もあるでしょうから、

どうにこつても教室にいるように学習できるようになります。この素晴らしい環境を生かしながら、全ての子どもたちが楽しく学べる1年にします。同じ義務教育学校ですから、多久市の学校とも交流したいですね。

毛利 「Create Tomorrow」だと思います。つまり「僕が、私が、未来を創る」です。子どもたちは必ず未来を創る役割を担います。それに必要な能力やスキルを習得してねと背中を押してあげたい。丑年らしく確かに足取りで、教育をはじめ市政全般の発展に向けて頑張ります。

毛利 今年は1人1台端末となり、

市長 こちらこそぜひお願いしま

す。連携し、知恵を共有し、新創造につながるといふと思ひます。

毛利 私の造語ですが、ICTは「アイコネクトトゥモロー」だと思ひます。

市長 こちらこそぜひお願いしま

す。連携し、知恵を共有し、新創

造につながるといふと思ひます。

毛利 今年は1人1台端末となり、

市長 こちらこそぜひお願いしま

す。連携し、知恵を共有し、新創

造につ